

平成 23 年 6 月 13 日

観光復興支援事業の実施について

足利銀行（頭取 藤澤 智）は、総額約 50 百万円の支援を決定しておりました栃木県の災害復興への協力において（平成 23 年 4 月 27 日発表）、「観光復興を P R する事業」を下記のとおり実施いたしますのでお知らせいたします。今般の事業においては、支援資金のうち約 10 百万円を充当いたします。

当行では、震災による過度の自粛ムードや原発事故の風評被害により多大な影響を受けている観光産業に対し、早期再生をはかるため、栃木県と連携して復興支援に取り組んでまいります。

記

1. 栃木県内の観光復興に向けたキャンペーンへの支援

本キャンペーンにつきましては、地域経済活性化研究会（栃木県、野村證券、足利銀行が参加）の検討を踏まえ、以下の内容で実施いたします。

名 称	「げんき栃木！夏の観光キャンペーン」
目 的	観光業界にとってハイシーズンとなる夏場に向けて、プレゼントキャンペーンを実施することにより、栃木県の知名度アップと誘客を図ると同時に、栃木県の安全性と魅力を P R する。
実 施 時 期	平成 23 年 7 月 20 日（水）～ 9 月 30 日（金）
キャンペーン 内容	(1) プレゼントキャンペーン ア. 対 象 者：期間内に栃木県内のキャンペーン対象施設に宿泊した方 イ. 賞 品：宿泊券、那須和牛、栃木のお米、地酒、宇都宮餃子等 ウ. 応募方法：応募はがきに宿泊施設で宿泊を証明するスタンプを押印してもらったうえで、郵送により応募する。 エ. 抽 選：キャンペーン期間終了後実施する。 オ. 発 表：抽選の発表は賞品の発送をもって代える。 (2) その他の特典 ア. 宿泊施設：お得な料金プランの設定、特別メニューの提供等 イ. レストラン・土産店・レジャー施設等：割引、商品のプレゼント等
イベント内容	(1) 開催趣旨：本キャンペーン内容の告知・P R とともに「とちぎ」で過ごす夏の旅行プランを提案することで誘客を図る。 (2) 開催内容：県産品の販売、観光地パネル・ポスター等の展示、パンフレット・ノベルティ・チラシの配布、体験学習の実施 P R、プレスキャラバン (3) 開催時期：平成 23 年 7 月中（2 日間） (4) 開催場所：横浜市

告 知 方 法	(1) チラシ、ポスター 栃木県他県内市町施設や観光協会等、従来から掲示している場所のほか、当行の店舗等に掲示し、一層の周知を図る。また、各種イベント・キャンペーン等でチラシを配布する。 (2) インターネット等 栃木県・足利銀行・栃木県観光物産協会等関係者のホームページに掲示するほか、各WEBサイトでPRしていく。
事 業 費	9,000 千円： 全額当行支援（栃木県の災害復興への支援 50,000 千円の一部充当）
実 施 主 体	やすらぎの栃木路共同宣伝協議会（事務局：栃木県観光交流課）
主 催	栃木県（やすらぎの栃木路共同宣伝協議会） 株式会社足利銀行 野村證券株式会社

2. 諸外国大使等の視察旅行への支援

目 的	福島第一原発事故に伴う風評被害により減少している外国人観光客の早期回復を目指すべく、海外に栃木県の安全性をアピールするため、諸外国大使館員等とその家族を視察旅行に招待し、栃木県の現状や魅力ある観光地を知ってもらうと同時に、母国や国内在住外国人向けにWEBサイト等を利用し情報発信を行ってもらう。
実 施 時 期	平成 23 年 6 月 25 日(土)～6 月 26 日(日) 1泊2日
視 察 場 所	日光山内、奥日光、鬼怒川 (世界遺産、自然遺産やテーマパーク見学、鬼怒川温泉のおもてなし体験等)
参加対象者	在日諸外国大使館員等とその家族（約 60 名）
主な出席者	溝畑観光庁長官、福田栃木県知事、斎藤日光市長、藤澤頭取
事 業 費	約 2,500 千円（旅費、視察費、昼食費、レセプション費他）
当行支援額	1,000 千円（栃木県の災害復興への支援 50,000 千円の一部充当）
実 施 組 織	(主催) 鬼怒川・川治温泉観光協会（インバウンド誘致委員会） (共催) 社団法人国際交流サービス協会、栃木県(国際観光推進協議会)、日光市(日光地区観光協会連合会) (後援) 観光庁 (協賛) 株式会社足利銀行、東日本旅客鉄道株式会社、東武鉄道株式会社

以 上